

# 日本バレーボール学会 第20回記念大会

## プログラム・抄録集

### テーマ

「RIO 2016 そして TOKYO 2020 へ ～ブラジルに学ぶ～」

2015年3月7日(土)・8日(日)

早稲田大学

主催:日本バレーボール学会

主管:日本バレーボール学会 第20回 記念大会実行委員会

共催:早稲田大学スポーツ科学学術院

## <目 次>

<会長挨拶：日本バレーボール学会第20回大会開催にあたって> .....	3
<日本バレーボール学会 第20回記念大会 組織委員会・実行委員会> .....	5
<これまでの大会> .....	6
<会場へのアクセス・会場案内図> .....	8
<参加者へのお知らせ><一般研究発表者へのお知らせ> .....	9
<第20回記念大会 日程> .....	10
<タイムテーブル> .....	12
<特別講演> .....	13
<基調講演> .....	14
<シンポジウム> .....	16
<フォーラム> .....	18
<一般研究発表プログラム・抄録> .....	22
<一般研究発表者へお願い> .....	48
<入会案内> .....	49
<協賛企業・団体一覧> .....	25

## <会 長 挨 拶>



## 日本バレーボール学会 第20回大会開催にあたって

日本バレーボール学会  
会長 遠藤 俊郎 (大東文化大学)

春の風が快い季節となりました今日、恒例の日本バレーボール学会（JSVR）研究大会が：「RIO 2016 そして TOKYO 2020 ～ ブラジルに学ぶ～」というテーマの基にここ早稲田大学，早稲田・戸山キャンパスにおいて開催されますことは，JSVR 会長としてこの上のない光栄の極みであり，開催に向けて尽力を頂いた関係各位には衷心より厚く御礼申し上げます。

さて，JSVR ニュースレター21号の巻頭言でも触れましたが，本年度はJSVR 創立20周年の記念すべき年度であり，本大会がその記念事業の集大成の機会になることは学会員の皆様方においても論を俟たないところだと思います。

20周年といえば，いわば「人」で言うところの成人式を迎え，ようやくJSVRも一人前の学会として認知される節目に差し掛かったという事ができ，これからが学会組織としていよいよ成熟していくことが期待されます。その中で「歴史は繰り返す」という格言もありますが，第1回大会は「温故知新」というテーマの基に，1996年5月25日（土）に記念すべき第1回総会・研究会が121名の大会参加者を迎えて早稲田大学体育局（当時）を会場として開催され，JSVRの原点であるバレーボール研究会が産声をあげました。そして創立20周年記念大会がJSVRのスタート地点ともいえるべきここ早稲田大学で再び開催されることは，創立の主旨を今一度再確認し，次代の成熟期に向かって新たなスタートを切る上で，これ以上絶好の場はないと思います。

ところで，ご承知の通り2020年夏季オリンピック・パラリンピック開催都市が東京に決定して以来既に1年半が経過し，本大会まで残すところ5年余りとなりました。日本バレーボール協会（JVA）においては，2020年東京オリンピックに向けて集中的に強化していく選手で「Team CORE」を構成し，着々と2020年に向かって対策を進めています。バレーボールのコーチングとスポーツ科学の融合を志向するJSVRとしても，リオ五輪を経由した2020東京オリンピックまでのこれからの活用可能な時間を無駄に過ごすことなくバレーボール競技を統括するJVA及びスポーツ関連学会等と如何に共同歩調を取りながら，身の丈に応じて具体的にどのような貢献が可能かを模索し始めなければならないことは，JSVR会長としましても事ある毎に強調してきたところです。

このような時勢において、今回の「RIO 2016 そして TOKYO 2020 ～ ブラジルに学ぶ～」というテーマの基に開催される研究大会は誠に時節を得たものと言えましょう。特に今回「基調講演」や「シンポジウム」、さらには「オンコートレクチャー」をお願いしたのは、現在 2016 リオデジャネイロオリンピックを控え、ブラジルのバレーボール界は基より世界のバレーボール界でもご活躍の指導者です。現在世界のトップグループに入るブラジルバレーボールの強さの一因にも言及して頂けるものと期待しており、2020 年東京オリンピックを目指した日本のコーチングに関する科学的知見とバレーボール競技の方向性に関するヒントを必ずや与えて頂けるものと思っております。このことは、「シンポジウム」でブラジル指導者に加え、男子が中心にはなりますが我が国のトップの指導者にも登壇して頂き、意見を交換して頂くことにより具体性が増すものと確信しております。

さらに、「一般研究発表」においても多くのバレーボール研究者のまた新たな知見の披露の場になることでしょうし、「20周年記念フォーラム」では「バレーボールにおけるブロッキングについて」というテーマのもと JSVR において先達的な4名の演者に、各氏の専門性を生かして多方面から具体的に論究していただけることも、本学会大会の特徴的な企画であり、その成り行きが楽しみです。

このように JSVR 創設 20 周年を記念する大会に相応しく多様な内容が準備されております。本大会に参加された方々には、ご一緒に創設 20 周年記念を盛大に祝っていただくと共に、是非積極的姿勢でご参会頂き、今後につながる成果が得られることを願ってやみません。

結びにあたり、多大なるご支援、ご協力を賜りました早稲田大学当局、並びに、ご協賛いただきました関係各位には重ねて厚く御礼申し上げます、会長のご挨拶といたします。

## <日本バレーボール学会 第20回記念大会>

大会会長： 遠藤俊郎（日本バレーボール学会会長・大東文化大学）

### ☆組織委員会

委員長： 遠藤俊郎（大東文化大学・JSVR 会長）

副委員長： 柏森康雄（大阪体育大学・JSVR 副会長），明石正和（城西大学・JSVR 副会長）

河合 学（静岡大学・JSVR 理事長），松井泰二（早稲田大学）

委員：（JSVR 理事）

石手 靖（慶応義塾大学），板倉尚子（日本女子体育大学），小川 宏（福島大学），  
勝本 真（茨城大学），川田公仁（つくば国際大学），黒川貞生（明治学院大学），  
黒後 洋（宇都宮大学），後藤浩史（愛知産業大学），小林 海（目白大学），  
小林宣彦（都立小川高等学校），篠村朋樹（木更津工業高等専門学校），  
杉山仁志（武蔵丘短期大学），高根信吾（常葉大学），高野淳司（一関工業高等専  
門学校），田中博史（大東文化大学），徳永文利（国際武道大学），中西康巳（筑波  
大学），橋本吉登（湘南東部総合病院），廣 紀江（学習院大学），古澤久雄（かのや  
スポーツ研究所），湯澤芳貴（日本女子体育大学），吉田清司（専修大学）

監 事：島津大宣（JSVR 監事），藤島みち（夙川学院短期大学・JSVR 監事）

### ☆実行委員会

委員長： 松井泰二（早稲田大学）

副委員長： 黒川貞生（明治学院大学），吉田清司（専修大学）

会 場： ○小林海（目白大学），山田雄太（大同大学）

会 計： ○塚越健司（早稲田大学本庄高等学院），

庶 務： ○綿引亮太（早稲田実業学校），篠沙織（早稲田大学）

受 付： ○多治見麻子（早稲田大学），根本 研（日本体育大学）

記 録： ○塚田圭裕（早稲田大学），高橋宏文（東京学芸大学）

渉 外： ○石手 靖（慶應義塾大学），松井泰二（早稲田大学）

（○印：責任者）

## <これまでの大会>

回	年月日	内容	場所
第1回	1996年5月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>内外バレーボールの動向と今日の課題</li> <li>バレーボール史妙</li> <li>日本における6人制バレーボールの原点</li> </ul>	早稲田大学
第2回	1997年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展途上国のバレーボール政策と現状</li> <li>21世紀を目指したコーチング</li> </ul>	早稲田大学
第3回	1998年3月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>温故知新-歴史に学ぶ</li> <li>ルールを考える</li> </ul>	早稲田大学
第4回	1999年3月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>'98バレーボール世界選手権を語る</li> <li>研究発表 ・コミュニケーション・アゴラ</li> </ul>	早稲田大学
第5回	2000年3月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>バレーボール発展のための企業チームからの提言</li> <li>研究発表 ・コミュニケーション・アゴラ</li> </ul>	早稲田大学
第6回	2001年3月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>21世紀のバレーボールの在り方考える</li> <li>研究発表 ・コミュニケーション・アゴラ</li> </ul>	早稲田大学
第7回	2002年3月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>バレーボールは変わるか</li> <li>研究発表 ・コミュニケーション・アゴラ</li> </ul>	大阪体育大学
第8回	2003年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本バレーボール再建へのシナリオ</li> <li>研究発表 ・コミュニケーション・アゴラ</li> </ul>	明治学院大学
第9回	2004年3月27・28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>バレーボール学会の足跡と展望</li> <li>バレーボールの授業展開を再考する</li> <li>コーチに要求される資質を再考する</li> <li>ワークショップ ・オンコートレクチャー・研究発表</li> </ul>	明治学院大学
第10回	2005年3月26・27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>バレーボールと社会の姿</li> <li>夢をかなえるバレーボール ・基調講演 ・シンポジウム ・研究発表・オンコートレクチャー</li> </ul>	東京女子体育大学
第11回	2006年3月4・5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技力向上のための育成システム</li> <li>フォーラム・オンコートレクチャー ・研究発表</li> </ul>	慶應義塾大学
第12回	2007年3月3・4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代バレーボール選手の育成</li> <li>フォーラム ・シンポジウム</li> <li>オンコートレクチャー ・研究発表</li> </ul>	大東文化大学 東松山キャンパス
第13回	2008年3月22・23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひと、まち、地域を創るバレーボールの魅力</li> <li>フォーラム・オンコートレクチャー ・研究発表</li> <li>コミュニケーション・アゴラ</li> </ul>	筑波大学 つくばカピオホール
第14回	2009年2月28・ 3月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジュニアのために…！ーわかりあえる仲間作りー</li> <li>基調講演 ・フォーラム・研究発表 ・特別講演</li> <li>オンコートレクチャー</li> </ul>	夙川学院短期大学

第 15 回	2010 年 3 月 27・28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校および高等学校の現場を考える</li> <li>・特別記念講演 ・シンポジウム ・ワークショップ ・フォーラム ・研究発表</li> <li>・オンコートレクチャー</li> </ul>	文京学院大学 女子中学校・高等学校
第 16 回	2011 年 2 月 26・27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性差を考慮したコーチングを考える</li> <li>・基調講演 ・特別講演 ・シンポジウム ・研究発表 ・フォーラム・オンコートレクチャー</li> </ul>	日本女子体育 大学
第 17 回	2012 年 3 月 3・4 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復興・あし性におけるスポーツの貢献を考える</li> <li>・フォーラム A・B ・シンポジウム</li> <li>・オンコートレクチャー ・研究発表</li> </ul>	慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎
第 18 回	2013 年 2 月 23・24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界トップレベルから見た日本のバレーボールの現状と課題・基調講演 ・シンポジウム ・フォーラム ・研究発表 ・キーノートレクチャー</li> </ul>	武蔵丘短期大学
第 19 回	2014 年 2 月 15・16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーチング力を探る</li> <li>・特別講演 ・シンポジウム ・ワークショップ</li> <li>・フォーラム ・研究発表</li> </ul>	鹿屋体育大学

第 1 回から第 4 回まで「バレーボール研究会」として、第 5 回以降は「バレーボール学会」として、第 15 回大会以降は「日本バレーボール学会」として開催。

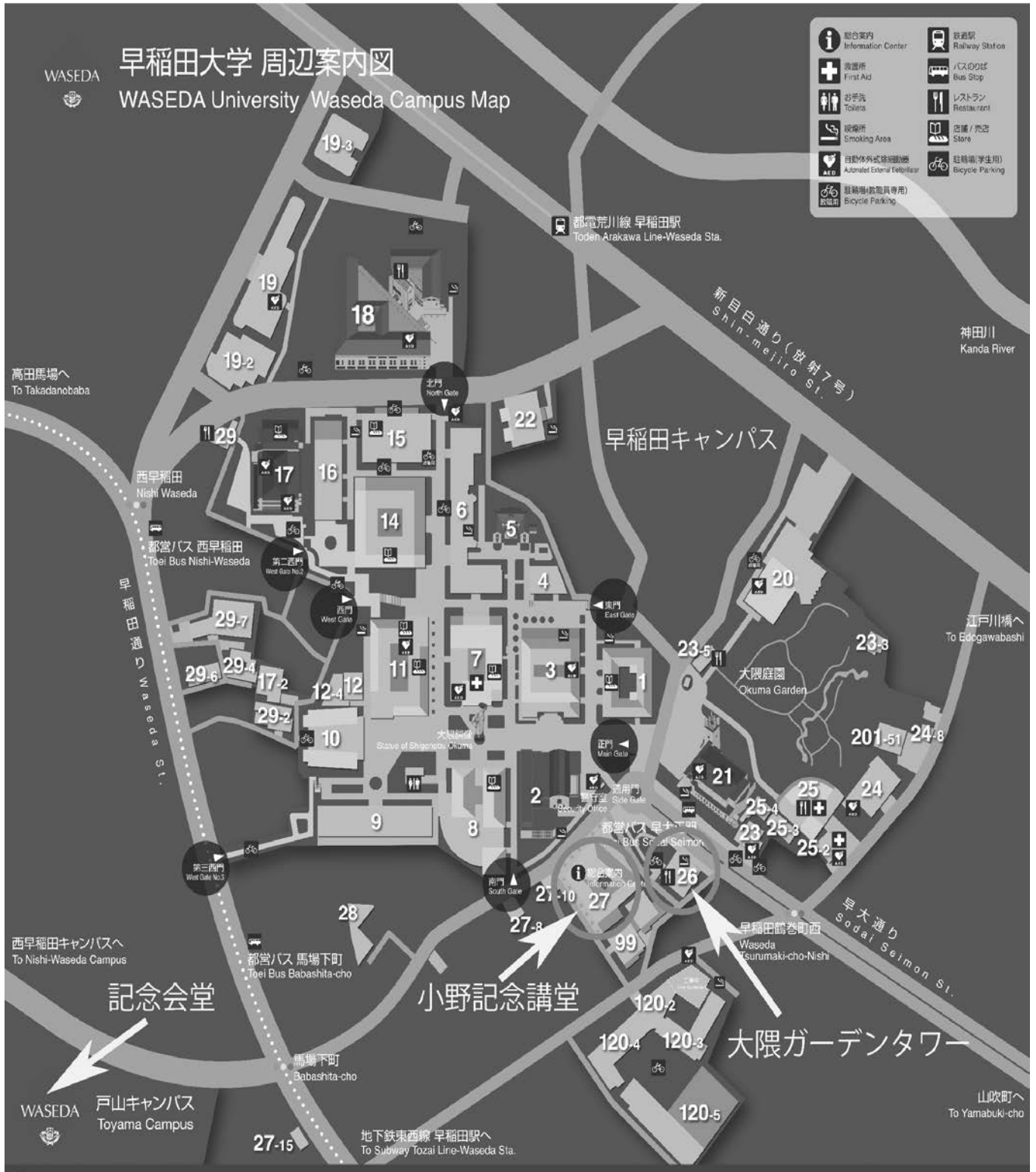
#### ◆早稲田大学へのアクセス

J R  
西武鉄道  
地下鉄東京メトロ

バス 都バス  
都バス  
都電  
羽田国際空港

山手線 高田馬場駅から徒歩 20 分  
新宿線 高田馬場駅から徒歩 20 分  
東西線 早稲田駅から徒歩 3 分  
副都心線 西早稲田駅から徒歩 17 分  
学 02 (学バス) 高田馬場駅 - 早大正門  
早稲田停留所  
荒川線 早稲田駅から徒歩 5 分  
京浜急行線・都営地下鉄線・東京メトロ・  
JR 等を使い継ぎ 約 1 時間

## <会場へのアクセス・会場案内図>



早稲田キャンパス  
〒169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1

戸山キャンパス  
〒162-8644 新宿区戸山 1-24-1



## <参加者へのお知らせ>

- 1) 学会参加者は事前登録、当日登録ともに参加受付を行ってください。第1日目は12:00～、第2日目は9:00～、両日ともに小野記念講堂にておこないます。受付では、受付・大会参加費の支払い・ネームカードおよび領収書の受け取りをおこなってください。事前登録をおこない、既に大会参加費をお支払いの方はネームカードと領収書を受け取ってください。ネームホルダーは、会場内において必ず着用してください。なお、1日目に受付を済まされた方は、2日目に再度受付をする必要はありません。

カテゴリー	参加費（事前登録）	参加費（当日登録）
学会員（一般）	4,000円（2日間）	5,000円（2日間）
学会員（学生）	無料	無料
非会員（一般）	2,500円（1日）	3,000円（1日）
非会員（学生）	1,500円（1日）	2,000円（1日）

※ 学生（大学生および大学院生）として参加申し込みされた方は、当日、受付で学生証の提示をお願いします。但し、高校生以下は無料（大会プログラムも配布）です。

※ 小・中・高校の指導者の方は必ず事前に事務局へ御連絡ください。また、当日参加については受付に申し出てください。本学会大会の開催趣旨から参加費無料と致します。

- 2) 日本バレーボール学会の年会費を未払いの方は、年会費をお支払いになり、領収書をお受け取りください。
- 3) 学内の建物内は、すべて禁煙となっています。喫煙される方は定められた喫煙所をご利用ください。
- 4) 会場は、小野記念講堂（27号館、地下2階）、大隈ガーデンタワー（26号館、15階）、記念会堂にておこないます。
- 5) 昼食は、学内食堂が営業しておりません。弁当をご持参頂くか、大学周辺でお済ませください。
- 6) 20周年記念パーティーを3月7日（土）18:00～大隈ガーデンタワー15階「西北の風」にて開催します。より多くの方の参加をお願いいたします。

## <一般研究発表者へのお知らせ>

- 1) ポスターパネルの大きさは横90cm、縦140cmとなります。ポスターの貼り付けは事務局で準備した両面テープを使用してください。両面テープは受付に準備してあります。
- 2) ポスターパネルには受付番号を記しておきますので、ご指定のパネルにポスターを掲示してください。
- 3) ポスターの掲示は、なるべく3月7日（土）の受付後すぐにおこない、8日（日）12:35までの一般研究発表後から総会の終了まで掲示した後、撤去をお願いします。パネルの片付け時に残っていたポスターは事務局で処分します。なお、8日（日）のみの参加者は、発表時までに掲示をお願いいたします。
- 4) ポスター発表の時間は3月8日（日）9:30～10:30になりますので、その時間帯はポスターの前で待機をし、質問者に対する対応をお願いします。
- 5) ポスターは上部20cm程度の幅に題名と演者名を記し、それ以降は自由な形式で作成してください。
- 6) 配付資料がある場合は資料を60部程度ご持参ください。なお、大会当日事務局においてコピーのサービスは対応できませんので予めご了承ください。

## <第20回記念大会 日程>

◆テーマ: 「RIO 2016 そして TOKYO 2020 へ ～ブラジルに学ぶ～」

第1日 2015年3月7日(土) 早稲田大学 早稲田キャンパス 小野記念講堂

12:00～ <受付開始> 早稲田大学 早稲田キャンパス 小野記念講堂  
(27号館地下2階)

12:30～12:40 <開会の挨拶> 小野記念講堂  
松井 泰二 (日本バレーボール学会 第20回記念大会実行委員長)  
遠藤 俊郎 (日本バレーボール学会会長)

(休憩5分)

12:45～13:45 <特別講演> 小野記念講堂  
【テーマ】誰もが輝く運動部活動を目指して  
講 師: 友添 秀則氏 (早稲田大学スポーツ科学学術院長)

(休憩10分)

13:55～15:20 <基調講演> 小野記念講堂  
【テーマ】ブラジルが目指すバレーボール  
講 師: アントニオ・マルコス・レルバッシ氏  
(ブラジル男子シニアチーム団長, 男子ジュニア・ユース監督)

(休憩15分)

15:35～17:35 <シンポジウム> 小野記念講堂  
【テーマ】RIO 2016 そして TOKYO 2020 へ  
司 会: 松井泰二 (早稲田大学)  
シンポジスト: アントニオ・マルコス・レルバッシ氏  
(ブラジル男子シニアチーム団長, 男子ジュニア・ユース監督)  
酒井 新悟氏 (JVA TEAM CORE 男子監督)  
朝日健太郎氏 (株式会社フォーバル)

(25分)

18:00～20:00 <第20回記念パーティー>  
大隈ガーデンタワー(26号館)15階「西北の風」

**第2日 2015年3月8日(日) 早稲田大学 早稲田キャンパス 小野記念講堂**  
**早稲田大学 戸山キャンパス 記念会堂**

9:00～ <受付開始> 早稲田大学 早稲田キャンパス 小野記念講堂

9:30～10:30 <一般研究発表> 小野記念講堂  
ポスターセッション

(休憩 10分)

10:40～12:00 <フォーラム> 小野記念講堂  
【テーマ】バレーボールにおけるブロックングについて  
司 会：黒川貞生（明治学院大学）  
1. ブロック技術の変遷（吉田）  
2. ブロック動作遂行過程の検討（○松井，根本）  
3. ブロックングのバイオメカニクス（○黒川，小林，山田）  
4. ブロックにおけるスポーツ外傷・障害とその対応・予防（○橋本，○板倉）

(休憩 5分)

12:05～12:35 <総 会> 小野記念講堂

12:35～13:30 <休 憩>

13:30～15:30 <オンコートレクチャー> 早稲田大学 戸山キャンパス 記念会堂

【テーマ】ブラジルにおけるコーチング  
講 師：アントニオ・マルコス・レルバッシ氏  
（ブラジル男子シニアチーム団長，男子ジュニア・ユース監督）  
実 技：早稲田大学バレーボール部員

15:30～ <閉会の挨拶>

## <タイムテーブル>

2015年3月7日(土) [第1日目]

時間	小野記念講堂	小野記念講堂入口	大隈ガーデンタワー
12:00~		受付	
12:30~12:40	開会の挨拶		企業展示 記念パーティー
12:45~13:45	特別講演		
13:55~15:20	基調講演		
15:35~17:35	シンポジウム		
18:00~20:00			

2015年3月8日(日) [第2日目]

時間	小野記念講堂	小野記念講堂入口	記念会堂
9:00~		受付	
9:30~10:30	一般研究発表	一般研究発表	企業展示
10:40~12:00	フォーラム		
12:05~12:35	総会		
12:35~13:30	休憩		
13:30~15:30			
15:30~			閉会の挨拶

## <特別講演>



**友 添 秀 則 （ともぞえ ひでのり）**

**早稲田大学スポーツ科学学術院長・教授**

### ◆プロフィール

1980年3月 筑波大学体育専門学群卒業

1982年3月 筑波大学大学院修士課程修了

1987年4月 香川大学教育学部 助教授

1989年～1990年 ニューヨーク州立大学 客員教授

1996年4月 香川大学教育学部 教授

2000年4月 早稲田大学人間科学部 教授

2003年4月 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授

2012年9月 早稲田大学スポーツ科学学術院長

（兼スポーツ科学部長）現在に至る

### 講演内容

#### 「誰もが輝く運動部活動を目指して」

2012年12月に起こった運動部活指導者の体罰による高校生の自殺は、大きな社会問題となった。また、それより少し遅れて発覚した女子柔道ナショナルチームのコーチによる暴力行為は、選手側からの告発に加えて、競技団体等の対応の遅れもあって、社会的な批判を招いた。これらの問題を契機に、我が国のスポーツの指導場面や運動部活動における様々なレベルでの体罰や暴力、ハラスメント行為が明らかになった。残念なことであるが、これほど社会問題となったスポーツの指導場面での体罰や暴力は、今もなお後を絶たない。スポーツと体罰や暴力、ハラスメントの親和性は、極めて高いといえるのかもしれない。

本講演では、これらの問題を克服していくために、私たちにいま何が求められるのかを、現状を分析しながら考えてみたい。具体的には、誤った勝利至上主義の是正、国民のスポーツ観の転換が何よりも求められる。さらにこのようなスポーツそのものの在り方の検討とともに、スポーツ教育学の学問的成果であるスポーツ指導の方法論、良いスポーツ指導者に求められる力量やスキルについても検討してみたい。

今の子供たちは耐性や意欲、体力の低下が著しいといわれる。だからこそ、社会からスポーツに大きな期待が寄せられる。スポーツの世界には実人生で経験する多くの葛藤を集約的に提供できる場がある。また、スポーツは、努力や協力を通して集団的な達成を可能にし、自己有能観を増す機会を多く提供する。いわば、心身に渡る人間形成にとって欠くことができない貴重な経験を提供できる場を多く持つ。誰もが輝く運動部活動を早急に構築することが必要である。



## <基 調 講 演>

**ANTONIO MARCOS LERBACH**

(アントニオ マルコス レルバッシ)

---

### Academic Background

- Master in Education – Vale do Rio Verde University - MG - 2002.
- Bachelor Degree in Physical Education – Federal University of Minas Gerais UFMG – 1982.

### Main Qualifications

Highlight areas that kept constant professional improvement: sports training, initiation and high performance volleyball, sports management, education, applied psychology and interpersonal relationship skills

### Professional Background

- Physical Education Teacher for 20 years in high schools.
- Coach Volleyball Club Teams base during 10 years.
- Lecturer (University) in the discipline of volleyball for 10 years.
- Volleyball Coach in Men's Senior Teams for 20 years.
- Coordinator and Coach of Men's National Teams (Junior and Youth) of Brazil (1982 until 2009).
- Team Manager of Senior Men's National Team of Brazil (2009 until 2011).
- Manager of Men's National Teams (Junior and Youth) of Brazil (2011 until present).
- Member of the National Committee of Coaches of the Brazilian Volleyball Confederation (Since 1994).
- Member of Coaching Commission of FIVB (Since 2013).

### Main titles as International coach with national teams (summary)

- Boy's World Youth Champion – 1989 and 1991.
- Boy's South American Youth Champion – 1982, 1984, 1986, 1990, 1992, and 2006.
- Men's South American Junior Champion – 1984, 1986, 1990, 1992, 1994, 1996, 1998, 2002, 2004, 2006.
- Vice World Junior Champion – 1995, 1997, 2003 and 2005.
- World Junior Champion – 1993 and 2001.



## <シンポジウム>

### テーマ「ブラジルが目指すバレーボール」



ANTONIO MARCOS LERBACH

(アントニオ マルコス レルバッシ)

#### ◆プロフィール

ブラジル男子シニアチーム 団長

国際バレーボール連盟 コーチ委員会委員

ブラジルバレーボール協会コーチ委員会

2009 FIVB グランドチャンオンズカップ 優勝

2002, 2006, 2010 FIVB 世界選手権 優勝他多数

ブラジリュースチーム監督, ジュニアチーム監督としてブラジルシニアチームへの育成・強化に長年にわたり携わっている



酒井 新悟 (さかいしんご)

#### ◆プロフィール

CORE 2020 男子監督

【V・プレミアリーグ】

第9回Vリーグ(2002年)から2008/9シーズンまで  
堺ブレーザーズコーチ

2009/10から2013/14シーズンまで堺ブレイザーズ監督

【受賞歴】

2010/11 V/プレミアリーグ 優勝監督賞

2012/13 V/プレミアリーグ 優勝監督賞



朝日 健太郎 (あさひけんたろう)

#### ◆プロフィール

1975年熊本県生まれ。1997年法政大学時代からインドア6人制バレーボール日本代表になる。1998年サントリー入社。実業団Vリーグにて新人賞受賞。

2002年インドアバレーボールからビーチバレーボールに転向。2005年ジャパンツアー年間優勝。白鳥勝浩選手とペア結成後、国内大会9連覇を達成。日本代表としてアジア大会に選出。

2008年北京オリンピックに日本人男子として12年振りに出場し、9位に輝く。

2010年広州アジア大会で銅メダルを獲得。

2011年(株)フォーバル入社

2012年ロンドンオリンピックに出場を果たした後引退。

2013年早稲田大学学術院社会人修士修了。

「NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長」就任。現在は、全国の海辺を通年活用し、人と海辺の繋がりを復元するべく活動に従事している。また、「公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボール事業本部長」

「東京オリンピック・パラリンピック教育を考える有識者委員」として、2020年東京五輪に向けて諸事活動をする。





## <フォーラム>



松井 泰二  
(まついたいじ)

### ◆プロフィール

早稲田大学 スポーツ科学学術院 准教授

早稲田大学 男子バレーボール部 監督

早稲田大学 卒業

筑波大学 人間総合科学研究科 博士課程 修了

博士 (コーチング学)

日本バレーボール学会 理事

日本バレーボール協会 調査部情報戦略班・

プレジデント・オフィス

日本バレーボール協会 公認講師

国際バレーボール連盟 公認コーチ

### 講演内容

近年のバレーボールでは、ジャンピングサーブやジャンピングフロートサーブが定着し、サーブの重要性はますます高まっている。強力なサーブによってレセプションを崩して、セッティングポジションを動かすことで、攻撃の幅を小さくさせるというものである。本来であれば、9mの幅を使って攻撃できるはずが、レセプションを崩すことで攻撃幅を限定するのである。また、場所だけでなく、攻撃の手段も限定できることになり、Aクイックなどが選択できなくなるということにもなる。

このように、攻撃を絞ってにおいて、ブロックで仕留めていくという考え方が定着し、サーブと連動したブロックの役割が大きくなってきたといえる。

ボールゲームにおいては、得点が入らなければ勝つことはできない。そういう意味では、得点する機会を増やす、相手攻撃による得点を減らすためにはブロックが有効になってくるのである。では、ブロックはどのような要素から成り立っているのだろうか。準備局面に着目してブロックをとらえてみることにする。

V・プレミアリーグのスタッフに調査をしたところ、1.基本の位置取り、2.ブロックの構え、3.実行人数、4.アタック場所での待機時間、5.ブロックの高さ、の項目が挙げられた。

V・プレミアリーグの606プレイを分析した結果、重視すべき項目については、相手の攻撃テンポの違いによって重要な項目が異なった。相手のレセプション・アタックに対するブロック局面で1stテンポのときにはアタック場所での待機時間が重要であった。2ndテンポのときには、ブロック構えが重要である等々が示唆された。そのことを念頭にオリジナルプログラムをもちいてトレーニングをおこなった結果、テンポごとにブロックの生起数に変化し、2ndテンポ、3rdテンポで貢献ブロックが有意に増えた。1stテンポに対するブロックにおいては、貢献ブロックに有意差が出なかったが、バレーボールの特性として、攻撃側が有利であるためと考えている。非貢献群の1stテンポでの数字が有意に下がり、まずいブロックが減ったのである。以上のことから、ブロックの構成要素を意識してブロックを取組むことにより、ブロックの貢献数が向上することが明らかとなった。

## <フォーラム>



黒川 貞生

### ◆プロフィール

明治学院大学 教養教育センター 教授

日本バレーボール学会 理事 (企画委員長)

研究領域: 運動生理学, バイオメカニクス, コーチング

ヒトの動作中の筋-腱複合体のダイナミクスについて研究  
バレーボールの種々の技術, 運動形態等について研究

指導歴: 全日本ジュニア男子チーム, 早稲田大学男子バレーボール部, 明治学院大学男子バレーボール部等, 長年にわたっての指導

### ブロッキングのバイオメカニクス

(くろかわさだお)

○黒川 貞生, 小林 海, 山田 雄太)

ブロックはディフェンスの第一線であり、相手アタックを防ぐだけでなく、その速度を減少させる役割や、アタックコースを限定することで、コートディフェンスの範囲を狭める役割も有している。そのため、バレーボール競技において、ブロックは試合の結果を左右する重要な要素と考えられている。そこで、本フォーラムでは、ブロック動作のキネティクス、ブロック動作の反応時間を中心に科学的なデータに基づいて、話題提供し、より良い動作、トレーニング方法等について活発なディスカッションを行いたい。

日本トップレベルの男子選手において、ボールがセッターの手を離れてアタッカーがそのボールを打つまでの時間は、レフトからの攻撃では1.1~1.2秒である。ブロック動作に要する時間は1.48秒程度である。図1は、ミドルブロッカーの左方向への3ステップ・ブロック動作中に発揮された右股関節トルクのタイムヒストリーである。上段から股関節伸展・屈曲(+・-)トルク、股関節外転・内転トルク、股関節外旋・内旋トルクを示している。垂線Aは左足接地、垂線Bは右足接地、垂線Cは左足接地、垂線Dはブロックジャンプ後の着地を示している。ステップ1前に、右脚股関節で大きな伸展トルク(約150Nm)が発揮されていた。特徴的なことは、同時に比較的大きな外転トルク・回外トルクも発揮されていたことである。垂線B以降の右足接および両脚接地相において大きな股関節伸展トルクと比較的大きな外転トルク・回外トルクの発揮が認められた。ブロック・パフォーマンスを決定する要因の1つに移動速度を挙げることができ、この移動速度は主に下肢3関節が発揮するトルクによって決定される。バレーボール選手のフィジカル・トレーニングとして、スクワットやデッドリフト、ハイクリーンがしばしば用いられる。これらの種目では、主として股関節伸展筋力・パワーの向上が期待できる。しかし、ブロック動作中に比較的大きな股関節外転トルクが発揮されていることを考慮すると、ブロック・パフォーマンスの向上のためには、股関節の外転・内転トルクの向上を狙った種目も取り入れることの重要性が示唆される。

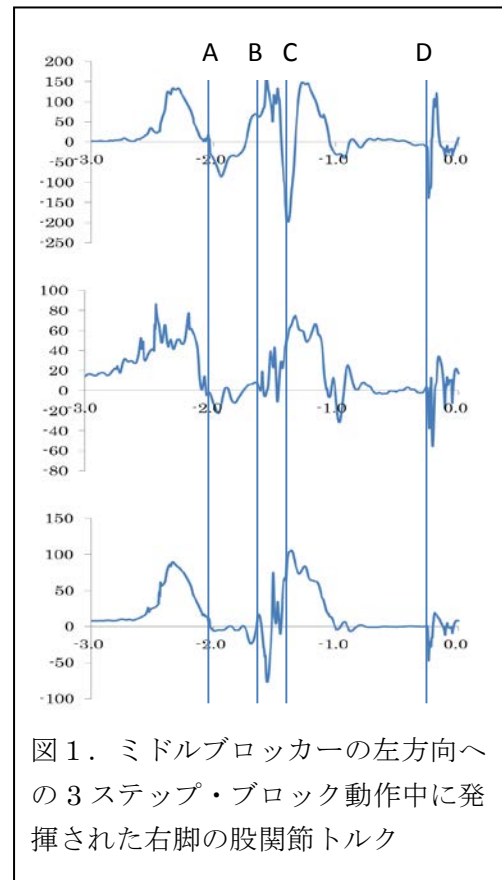


図1. ミドルブロッカーの左方向への3ステップ・ブロック動作中に発揮された右脚の股関節トルク

## <フォーラム>



橋本吉登  
(はしもと よしと)

### ◆プロフィール

金沢大学医学部卒業

医療法人社団祐昇会 三ツ境整形外科院長

日本バレーボール学会 理事

国際バレーボール連盟 公認ドクター

日本バレーボール協会 メディカル委員会委員

神奈川県体育協会スポーツ医科学委員会委員

### 講演内容

得点に直接につながるスパイクをネット際で防ぐブロックはバレーボールの大事な大事なプレーです。ブロックはスパイクされた直後の大きな勢いのボールを至近距離で手で受けるプレーであり、手の外傷、中でも指の外傷が多くみられます。「突き指はケガの内に入らない」という言葉を現場で聞いたことがあります。たしかに簡単な指の捻挫であればテーピング処置で早期の競技復帰が可能です。しかし、ボールを指に当てて起きるケガの中にはテーピングで対応できる捻挫だけではなく、骨折、脱臼、腱損傷などの変形や運動障害の機能障害を残すケガも含まれます。ブロックで起きる外傷を実際の調査より説明します。

肘関節もブロックで損傷を受けます。問題となるのは肘の骨の配列です。肘を真っ直ぐ伸ばして正面から見たときに外側に大きく曲がっている状態を「外反肘（がいはんちゆう）」といいます。また、伸ばした時に側面から見て反りすぎる状態を「過伸展」といいます。このような元々の腕の形により、衝撃に対する肘関節の負担は変化して来ます。このような肘の骨の配列について説明します。

下肢の障害では足関節捻挫がブロックの時に多くみられます。これは着地の時に見られ、床にある相手の足や味方のブロッカーの足の上に乗って起きることが多くみられます。足関節の捻挫の予防には着地時の注意とブロック時の空中フォームにも気を配るようにします。ルールの面では相手コートに対してセンターラインを踏み越す反則に対して、医学的な見地から整備すべきと考えます。

以上を中心にブロックで起きる外傷について解説いたします。



板倉尚子  
(いたくら ひさこ)

## <フォーラム>

### ◆プロフィール

日本女子体育大学 健康管理センター 勤務

#### <資格>

理学療法士，鍼師・灸師，あん摩・マッサージ・指圧師

日本体育協会公認アスレティックトレーナー

全日本大学バレーボール連盟科学研究委員会

JOC 情報・医・科学専門委員会医学サポート部

### 講演内容

手には5本の指がある。示指、中指、環指、小指には基節骨・中節骨・末節骨の3つの指骨があり、中手指節関節 (metacarpophalangeal joint : MP 関節)、近位指節間関節 (proximal interphalangeal joint : PIP 関節)、遠位指節間関節 (distal interphalangeal joint : DIP 関節) の3つの関節をもつ。母指には基節骨と末節骨の2つの指骨があり、MP 関節と IP 関節をもつ。指の関節は掌側には掌側板があり、両側は側副靭帯で強固に保持されているが、ブロックやオーバーハンドパスでボール操作を誤ると手指のスポーツ外傷を発生する。

外傷には骨折や脱臼、靭帯断裂、腱断裂などの様々な病態が含まれているが「突き指」として対処され軽視されやすい。重症度が高い外傷を治療せず放置すると変形などの後遺症が発生する可能性がある。スポーツ現場で手指の重症度を判断する指標は疼痛、腫脹、変形、自動運動による可動域があげられる。疼痛や腫脹や強く、変形があり、正常な指の動きが出来ない場合には重症の可能性がある。例えば伸筋腱皮下断裂は指を伸ばした状態でボールが指先にあたり DIP 関節の屈曲が強制され発生するが、疼痛や腫脹が強く DIP 関節付近の伸筋腱の連続性が失われるため DIP 関節を伸展できず屈曲位となる槌指 (mallet finger) がみられる。伸筋腱皮下断裂は保存療法が原則であり、DIP 関節を6~8週間確実に伸展位で固定できれば予後は良好である。しかし確実に固定できず完治しない場合にはスワンネック変形 (PIP 関節過伸展、DIP 関節屈曲位) となり後遺症をのこす。

このような外傷に対して確実に固定するためには熱可塑性スプリント材でスプリントを使用すると効果的である。熱可塑性スプリント材での固定はアルフェンスシーネなどに比べ、成型しやすくフィット感があり、また耐水性があるため使いやすく長期間の固定に優れている。PIP 関節側副靭帯断裂では応急処置や試合・練習時の固定として外傷側の隣接指とのバディーテーピング (buddy taping) を用いることが多いが、バディーテーピング日常生活では不自由であり熱可塑性スプリント材で固定具を作成し3~4週間固定するのが望ましい。手指に外傷が発生した時に疼痛や腫脹が強く、変形があり、正常な指の動きが出来ない場合には重症度を軽視せず早期に手の専門医による正確な診断と適切な治療が大切である。

## ＜一般研究発表プログラム・抄録＞

### 演題番号 No.1

バレーボールコートにおける特徴点を利用した3次元動作解析  
～一般男子大学生のスパイク動作について～

- 村本名史（常葉大学）、中井聖（静岡福祉大学）、栗田泰成（常葉大学）、  
高根信吾（常葉大学）、瀧澤寛路（常葉大学）、塚本博之（静岡産業大学）、  
河合 学（静岡大学）

### 演題番号 No.2

FIVB 公認コーチによる国際的指導普及活動について ～香港のワークショップを事例に～

- 吉田康成（四天王寺大学）、中嶋大輔（京都外国語大学）  
内田和寿（京都ノートルダム女子大学）、松井泰二（早稲田大学）

### 演題番号 No.3

FIVB 公認コーチによる国際的指導普及活動について ～フィリピンのワークショップを事例に～

- 内田和寿（京都ノートルダム女子大学）、中嶋大輔（京都外国語大学）、  
吉田康成（四天王寺大学）

### 演題番号 No.4

クラブ男子バレーボール選手における傷害と疼痛

～平成26年度全日本6人制バレーボールクラブカップ男子選手権大会について～

- 栗田泰成（常葉大学）、村本名史（常葉大学）、塚本博之（静岡産業大学）、  
高根信吾（常葉大学）、中井聖（静岡福祉大学）、平野幸伸（常葉大学）、  
瀧澤寛路（常葉大学）、河合学（静岡大学）

### 演題番号 No.5

Vプレミアリーグ男子におけるホームとホーム以外の試合観戦者特性について

- 永谷 稔（北翔大学）

### 演題番号 No.6

スパイクにおける評価についての調査研究

- 永田聡典（九州共立大学・九州大学大学院システム情報科学府）

### 演題番号 No.7

学生スポーツ界の現状と課題 ～バレーボールに着目して～

- 佐藤国正（桐蔭横浜大学）、馬場大拓（神戸学院大学）  
佐藤重芳（神奈川県教育委員会）

演題番号 No.8

**バレーボールの試合時の移動距離に関する研究**

- 山田雄太(大同大学)、天野雅斗(東海学園大学助教)石垣尚男(愛知工業大学)、  
植田和次(愛知学院大学)、江藤直美(名城大学)、金子美由紀(名城大学)、  
神田翔太(名城大学)、後藤浩史(愛知産業大学)、三枝大地(ナショナルトレーニングセンター)、  
根本研(日本体育大学准教授)、光安信次(福岡大学)

演題番号 No.9

**オーバーハンドパスを想定した手指の筋腱複合体の弾性効果**

- 前田 桃子(佐世保工業高等専門学校)、榎田 諭(佐世保工業高等専門学校)  
縄田 亮太(佐世保工業高等専門学校)

演題番号 No.10

**運動部活動におけるウイングスパイカーの指導概念 ~主にスパイク指導に着目して~**

- 鈴木陽大(静岡大学大学院)

演題番号 No.11

**大学生バレーボールチームにおけるチーム力に関する研究 その3  
~リーグ戦の経過に着目して~**

- 田中博史(大東文化大学)、遠藤俊郎(大東文化大学)、横矢勇一(大東文化大学)、  
池田志織(大東文化大学大学院)、榎戸慎(大東文化大学大学院)、飯塚駿(大東文化大学大学院)

演題番号 No.12

**トランジション成功率によるディフェンスのパフォーマンス評価**

- 池田志織(大東文化大学大学院)、遠藤俊郎(大東文化大学)、田中博史(大東文化大学)、横矢勇一(大東文化大学)、榎戸慎(大東文化大学大学院)、飯塚駿(大東文化大学大学院)

演題番号 No.13

**Data volley による大学男子バレーボール競技の得点率に関する評価項目**

- 松井泰二(早稲田大学スポーツ科学学術院)、塚田圭裕(早稲田大学スポーツ科学研究科)、多治見麻子(早稲田大学スポーツ科学研究科)、阿部あずさ(早稲田大学スポーツ科学部)、黒川貞生(明治学院大学)、小林海(目白大学、早稲田大学スポーツ科学学術院)

演題番号 No.14

**Data volley を用いたVプレミアリーグ女子における得点率に関する項目の抽出**

- 塚田圭裕(早稲田大学スポーツ科学研究科)、多治見麻子(スポーツ科学研究科)、  
阿部あずさ(早稲田大学スポーツ科学部)、小林海(目白大学、早稲田大学スポーツ科学学術院)、  
松井泰二(早稲田大学スポーツ科学学術院)

演題番号 No.15

**バレーボール女子選手におけるスパイク動作分析~Aクイックに着目して~**

- 多治見麻子(早稲田大学スポーツ科学研究科)、塚田圭裕(早稲田大学スポーツ科学研究科)、ヨーコゼッターランド(嘉悦大学)、小林海(目白大学、早稲田大学スポーツ科学学術院)、松井泰二(早稲田大学スポーツ科学学術院)

稲田大学スポーツ科学学術院)

演題番号 No.16

**ポジション別にみた女子バレーボール選手のスパイク動作の特徴**

- 小林海（目白大学人間学部、早稲田大学スポーツ科学学術院）、多治見麻子（早稲田大学スポーツ科学研究科）、黒川貞生（明治学院大学）、亀ヶ谷純一（明治学院大学）、松井泰二（早稲田大学スポーツ科学学術院）

演題番号 No.17

**バレーボールにおける声かけとパフォーマンスの関係性**

- 中川美香（スポーツ科学部）、篠沙織（環境・エネルギー研究科）、内田直（スポーツ科学学術院）、松井泰二（スポーツ科学学術院）、早稲田大学バレーボール部

演題番号 No.18

**バレーボールの試合時の移動距離に関する研究**

- 山田雄太（大同大学）、天野雅斗（東海学園大学助教）、石垣尚男（愛知工業大学）、植田和次（愛知学院大学）、江藤直美（名城大学）、金子美由紀（名城大学）、神田翔太（名城大学）、後藤浩史（愛知産業大学）、三枝大地（ナショナルトレーニングセンター）、根本研（日本体育大学准教授）、光安信次（福岡大学）

演題番号 No.19

**バレーボール授業における未習熟者への技術向上に関する一考察  
～K大学での授業を事例として～**

- 馬場 大拓（神戸学院大学）、佐藤 国正（横浜桐蔭大学）

演題番号 No.20

**バレーボール競技における勝敗に関わる技術項目 ～国内大学男子トップレベルを対象として～**

- 秋山 央（筑波大学）

演題番号 No.21

**バレーボール選手におけるワーキングメモリと空間認識の関係**

- 高野淳司（一関工業高等専門学校）

演題番号 No.22

**簡単な力学モデルを用いたスパイクジャンプの動作原理の検討**

- 三村泰成（鶴岡高専）

演題番号 No.23

**バレーボール活動におけるウォーミングアップの実態について  
～中学校、高等学校における指導現場に着目して～**

- 佐藤重芳（神奈川県教育委員会）、佐藤国正（桐蔭横浜大学）、内田和寿（京都ノートルダム女子大学）



## <広告協賛企業・団体一覧>

- アシックスジャパン株式会社
- 有限会社井荻スポーツ
- 伊藤超短波株式会社
- 特定非営利活動法人NSCAジャパン
- FC東京 バレーボールチーム
- 大塚製薬株式会社
- 岡崎建設株式会社
- オガールベース株式会社
- 株式会社クレーマージャパン
- 株式会社ササキスポーツ
- 株式会社 JTB コポレートセールス
- ジェイテクト・スティングス バレーボールチーム
- セノー株式会社
- 竹井機器工業株式会社
- 東レ・アローズバレーボールチーム(東レ株式会社)
- 日勝スポーツ工業株式会社
- 日東メディカル株式会社
- 日本シグマックス株式会社
- 日本文化出版株式会社

- パナソニック・パンサーズ バレーボールチーム
- 株式会社フォーバル
- 有限会社ブックハウス・エイチディ
- ミカサ株式会社
- 株式会社モルテン
- 株式会社横浜黒川スポーツ (GALLERY2)
- 株式会社 RICO・RICO

(五十音順)

**その他，寄付を頂きました方々には深く感謝申し上げます**